95

高橋副総裁へ

発信　一月二十九日午后四時卅分

第三十八号

政府ヨリ左ノ通発電越有リ

大連ニ税関無之為メ無税ノ貨物満州ニ輸入セラレ上海牛荘等ノ貿易ハ為メニ妨害ヲ受ケルヲ理由トシテ清国ニ於ケル外国商人間ニ頗ル苦情アリ既ニ英国外務省ヘ迫リ居ルモノヽ如シ右ニ付貴君ハ左ノ事情含置アレ度

政府ハ膠州湾ニ於ケル独逸ノ例ニ倣ヒテ税関ヲ置クノ事ニ決シ居ルモ北満州ニ於ケル税関ニ付露国ノ政策其他種々ノ利害ニ鑑ミ未タ

日本銀行

解決ヲ要セサルモノニシテ其目的ハ満州ニ於ケル門
戸~~解~~開放ノ公平ナル基礎ヲ作ラントスルニアリ
決シテ日本品ノ利益ヲ計ガ為メニ税関問題ヲ
遷延スルニ非ズ

高橋副総裁

一月二十九日午后二時半了

発信

ヲら早り

添田総裁ヨリ後報有之電報致候

東京市電気鉄道市有ノ事ハ見合トナレリ

右ゴルドンヘモ御伝言有之度

日本銀行

高橋副総裁、

二月一日午后九時卅分

発信

第三十九号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ

粟野大使ヨリ当方外務大臣宛第九号電報ハ同大使ヨリ貴君ニ電報照會ニ付貴君ハ至急事情ヲ探索シ何分ノ意見申出アルベシ

右電報ノ趣ニテハ粟野大使ハ佛国政府ノ真意ヲ探リ得サルモノヽ如シ甚タ心配ス

日本銀行

(98)

高橋副総裁ヨリ

二月二日午后八時

受信

第三十六号

貴電第三十九号領承栗野大使ヨリ未タ何等
情報ニ接セス併ナガラ拙者ハ目下巴里及チヤイルド
ニ向ツテ最後ノ談判中ナリ御承知ノ通英蘭銀
行割引歩合ハ五分ニ引下タレトモ同時ニ市中ノ
金融ヲ引締ル手段ヲ取リタルヲ以テ市場ハ依然トシテ
金融逼迫ナリ右ハ未タ米国金融界ノ態度ニ安
心出来サル者アルニ由リ豫メ警戒シテ正貨輸出ヲ
防ムトスルニ外ナラス尤モ大体ノ趨勢ニ由リ察スル所
二月中旬迄ニハ英蘭銀行モ尚利下ノ手段ヲ取ル

日本銀行

ニ至ル迄総テノ事情ヲ綜合スルニ三月ヨリ以テ我仕事
ヲナスニ最モ好時機ト存候故今ヨリ二国間内外
ニ愈仏国ノ態度定ラズシテ仏国ニ於テ発行出来ズ
ト確定スレバ英米独ヲ相手トシテ直ニ実行ノ談判
ニ取掛ル決心罷在候其場合ニハ五分利付公債発
行ノ事ヽ政府ニ於テ御決心相成度是昨年以来
世界ノ金利騰貴シ近キ将来ニ於テ金利著敷低
落ノ見込無キ世界的状況ニ因ル者故政府ハ断然其
事ニ御決心相成度尤モ四分五厘利付ノ方体裁上
好マ敷ニ似タリト雖モ算盤上及（一字不明）上五分利公
債ヲ可トス四分五厘利付公債ニシテ不成功ニ帰スヘ
今後ノ財政策ニ極メテ差支ヲ生スル恐有之
先ハ要事而已匆々

高橋副総裁へ

二月二日午后十時

発信

第四十号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ
南満州鉄道会社ハ其鉄道ニ米国式ヲ採用スル事
ニ決定シスケネクタヂー会社及カーネギー会社ニ
対シ千二百万円ノ注文ヲ発セントスルコト決定シ其趣
後藤男ヨリ大隈先生ニ申出タリ
右ハ社債募集上非常ノ好材料ナルヲ以テ若シ米国
ガ社債ノ引受ニ同意セサレバ或ハ他国ニ注文スルヤモ
不被計トノ内意ヲ内々ニ仄メカシ豫メシフノ内
諾ヲ得置ク方得策ナリト信ス但シ発行ノ時期

日本銀行

ハ公債借換其後ノ都合モ有之故ニ暫ク先ニ延シ置ク差支無之候 藤男ハ材料注文ノ時期ハ工事ノ都合上延期致ニ付両三日中ニ何分ノ回答有之度ト申出タリ 返電ヲ俟ツ

又南満洲鉄道会社社債元利保証ニ関スル議案ハ目下衆議院予算委員ニ於テ調査中異議無之通過ノ模様

髙橋副總裁ヨリ

二月三日午前八時

來信

リ号

万一佛國ニ於テ發行出來サレバ四分利付公債發行ハ絶望ト覺悟セサル可カラズ四分五厘利付公債ハ既ニ六億円ノ巨額發行相成居現今未個人的投資者ノ手ニ歸着セスシテ世間ニ浮浪スルモノ多キヲ認ム故ニ今新ニ四分五厘利付公債ヲ發行スレバ一層其市價下落スル事ヲ見込(サルベカラズ)(一字不明)從テ甚不利益ナルヤ疑ナシ然ルニ五分利付公債ハ比較的其額モ少キ故發行價格九九、乃至一〇〇ニテ行ハルヽ見込有之又其成功モ疑ナシ此理由

日本銀行

ヲ元ニ直筋ヘ御説明相成度

總ヘテ賣物市場ニ現居リシ故

高橋

高橋副総裁ヨリ

二月四日午前九時

来信

第二十七号

貴電第四十号御来示米国ニテハ注文取ノ競争ハ注文品代価年賦払ノ条件ヲ取為メニハ好材料トナルベシト雖モ長期社債発行ノ条件ニハ格別効力ナシ乍併仏独ニテ社債募集ヲナス場合ニハ注文ヲ出ス一事ハ非常ノ好材料トナル蓋シ是其国ノ政府ガ常ニ金融界ニ充分手腕ヲ有スル故ナリ然シ乍既ニ南満洲鉄道会社ガ米国式ト決定ノ上ハ他国ニ注文出来不申事明ナリ又米国ニテハ最上等鉄道会

日本銀行

社カ事業擴張ノ為期限三年利子五分
ト云フ接揚ナル條件ニテ社債募集中ナリ
其外電信電話会社等モ好条件ニテ社債
ヲ起シツヽアリ然ルニ米国ニテハ其目的ヲ達シ得不申
為メニ目下頻リニ倫敦巴里等ニ募集シツヽアリ
米国ノ状況右ノ如ニ付若シシツヽアルニ於テハ我国ニテハ、
シツヽアルハ必其巴里及倫敦ノ取引件向ト協同
引受ヲナシ巴里若クハ倫敦巴里両市場ニテ発
行スルコト、ナルベシト信シ候
栗野大使ヨリ来 ・ 電第三十九号ノ報紙ナシ

(102)

髙橋副総裁ヘ

二月五日午后二時卅分

発信

第四十一号

政府ヨリ左ノ通発電被成度ヨリ

栗野大使電報第九号ハ至急貴君ヘ電

報可致旨当月一日外務大臣ヨリ同大使ヘ訓

令済

日本銀行

(103)

小野監督役、

二月五日正午

奉復

頃日米国ニテハ移民問題ニ付我国ヨリ最後
ノ通知ヲナシタリト云フ事ニテ本邦ニ対シ大ニ悪
感情ヲ懐ク者多シトノ説ヲ為ス者アリ
右様無根ノ風説ニテ両国間ニ悪感情ヲ生スル
事アラバ甚遺憾ニ存ス我国ハ近キ将来ニ於テ
公債募集ノ必要モ有之其地実況如何

松尾

武夫留学ノ説明書到来万事好都合ニ幸運
タリ感謝ス

日本銀行

(104)

高橋副総裁ヨリ

二月七日午前七時

受信

第三八号

佛国政府ノ態度ニ関シ本日栗野大使ヨリ詳報ニ接シタリ推者ハ昨今尚コッホバベルヌイユ等ヲシテ巴里ニ於テ運動ヲナサシメツヽアリ其情報モ二月十二日頃迄ニハ疑ト相成可申ト信シ居候就テハ若佛政府依然トシテ見送ノ姿ニテ何事モ定マラサル件ハ巴里市場ニ依ラズ直ニ時機見計英米独ヲ相手ニ五分利丹公債発行ノ方針ヲ以テ談判開始ニテ宜敷哉返電奉願候

至急

日本銀行

高橋副総裁ヘ

二月七日　午后一時

発信

第四十二号

政府ヨリ左ノ通リ発電命セラレタリ

貴電第三十七号委細承知幸ニ「レフレ」ヨリ社債ニ関シ添田ヘ書面到来ニ付同人ヲシテ左ノ通リ「レフレ」ニ通知セシメ置キタリ一九〇七年一月四日

貴信落手致ケ南満州鉄道会社々債ニ付テハ後藤男爵(新任)・近寄リコトヲ急ラズ尚同鉄道ハ可成米国式ヲ採用シ材料ハ米国ニ注文スル事トナルヘキ見込之ハ政府当局者モ米

日本銀行

國ニ對スル日本ノ好意ヲ表スル爲メ頗ル賛成ノ模様ナリ又同鉄道社債ニ對スル元利保証ノ議案ハ政府ヨリ衆議院ニ提出済ミ異議ナク通過スベシ

高橋副總裁ヘ

發信　二月七日午后一時

第四十三号
政府ヨリ左ノ通リ發電命セラレタリ
貴電第二十二号ノ韓國鑛山ニ関スル件ニ付伊
藤博文統監ヨリ左ノ回答有之韓國ニ於テハ
鑛山行政ノ紊乱ヲ整理スルノ目的ヲ以テ昨年
七月鑛業法ヲ公布シ同年九月十五日ヨリ
之ヲ實施シタルヲ以テ同日以後ハ内外人ヲ論
セズ凡テ該法ニ従テ出願ヲ要スルニ付特別
ナル條件ヲ以テ新ニ採鑛ノ許可ヲ與ヘ難シ仍

テ同國ニ於テ採鑛權ヲ得ントスル英國資本家ニ對シテハ同國鑛業法規ニ從テ出願スル樣サレタシ委細書面ニ讓ル但新鑛業法ハ頗ル公平ニシテ企業家ノ為ニ寧ロ利益ナリト思ハル

高橋副總裁ヘ

発信　二月七日午后一時

第四十四号

政府ヨリ左ノ通リ発電命セラレタリ

第十二回報告落手「ディスコント、ゲゼルシャフト」ヘ預金ノヿ差支無之

日本銀行

日本銀行

小野田警察署ヨリ

受信　　　　二月七日午前八時

第五十号

桑港事件ハ太平洋沿岸地方一部ノ
問題トシテ當國民ノ日本ニ対スル良好ナル感
情ニハ何等ノ影響無之戰争云々ノ風説ノ
根據ハ當國政府當局者ガ桑港代表者ニ対
シテ用ヰタル威嚇文句ニ有之トノ説

高橋副総裁ヨリ

来信

二月七日午后六時

第二十九号

日本政府ヨリ露国政府ヘ直接申入ニ関シ二月六日
小村大使ヨリ意見上申被成候旨政府ニ於テ
同大使意見採用セラルルヤ否ヤ至急拙者ヘ
御電報被成度若採用被成ズ候節ハ拙者ハ
二月十一日巴里ニ出張栗野大使協議ノ上
仏国政府ニ対シ最後ノ確答ヲ催促シ之ニ依テ
成功不致候節ハ心善ク物別レスル手段ヲ取
リ直ニ英米独ヲ相手トシテ五分利付公債発
行ノ方針ヲ以テ談判開始致度此所時機

大切ニ至急廟議ヲ定メラレ御指圖有之度
奉願候

発信 京城副統監へ 二月廿六日午后七時

第四十五號

小村大臣ヨリ左ノ通來電第七三七アリ

貴電第二十六號落手當方電信

第三十四號ヲ以テ一月十六日外務大臣ヨリ栗野大使

ヘノ訓令要領御通知済ナル其后外務大臣ト

同大使トノ往復大要左ノ如シ

第一 一月十九日外務大臣ヨリ露國ガ日本公債ノ

募集ニ妨害ヲ試ムル真意ハ單ニ目下商議

中ノ条約ヲシテ速ニ満足ナル締結ニ至ラシメンカ

ナラン露ニ在リカ果ヲ露國自ラ募債ノ計画

ヲ有スニ由ルカ京城ニモ此旨ヲ傳ヘ其ノ内情

ヲ探知セシコトヲ努メラルベシトノ訓令ニ対シ同月
二十二日同大使ヨリ露国ノ目的ハ前者ニアルモノヽ如シ
今ヤ仏国ニ於テハ露国新公債成立ノ不可能
ナルコトハ輿論ノ認ムル所ナリ而シテ露国ハ銀行事
業ノ目的ヲ以テ「ルーピエー」ノ主宰スル銀行ヲ
介シテ何等計画スル所アルヤヲ聞クモ未タ確
定シタル者ナキカ如シトノ返電アリ

第二 一月三十日栗野大使ヨリ同月十七日外務大臣
訓令ニ対スル返電アリ要領ハ下ノ如シ
仏国外務大臣曰ク元来露国ハ日本ノ軍
備拡張其他ノ態度ヨリ日本ニ対シ甚タ
不安ノ念ヲ有スルヲ以テ予ハ（外務大臣）之ガ
弁解ヲ努メタルモ充分之ヲ了解スル能ハズシテ

余ガ伯ノ希望ニ真ニ同意ヲ表スル際ニ本年ニ
シテポーツマス条約ハ甚キ露国ト如何ナル協
約ヲ為スト否トニ拘ラズ今後ニ亘リ多年ノ懸
案ニ関シ露国ヲ安心セシムルヲ得ルニ至ラバ
日仏協約ハ多額公債ノ事モ真ニ成立シ
見ルニ至ルベシト又本年ノ確ナル説明ヲ聞ク処
ニヨレバ露国ハ露国ニ於ケル三大官有鉄道
ヲ私立会社ニ譲渡シ其代金十億法ヲ以テ
此億ハ仏国其他ニ於テ募集ノ計画ノ由云々
仍テ当方外務大臣ハ二月二日栗野大使ニ対シ
大要下ノ如キ訓令ヲ発セリ其一仏国外務
大臣ハ一月九日閣下ト会見ノ際日露両国
戦中ノ条約締結ノ上ハ日本公債ノ成立

ニ尽力スヘシト得ニタル拘ラス百三十日ノ実見
ヲ於テハ全体ニ亘リ日本ノ態度ニ関シ露国
ヲ安心ヲ与ヘルヲ揚ニ至ルマテハ日本ハ公債ノ成立
ニ助力ニ難キト与ノ意向ヲ示シ根底ヨリ前
言ヲ翻ニ至リタルハ如何ナル事情ニ基クヤ
米主
日本ハ戦役前露国ニ対シ何等不安ノ念
ヲ起サシムヘキ処置ヲ執ラサルニ拘ラス日本ノ態
度ニ対シ露国ハ危惧スルト云フハ果シテ如何
ナル日本ノ態度ヲ指カ閣下ハ右諸点ニ関シ
ヲ日本政府ヘ正確ノ報告スルノ必要アルト与フ
佛国政府ニ陳述ヘラレ閣紙旦本件ニ
対スル閣下ノ意見トヲ共ニ詳細電報
セラレ度ト訓令セリ

第三　二月三日栗野大使ハ右訓令ニ対シ下ノ意味ノ返電ヲ為セリ　本官（大使）ハ佛国外務大臣最后ノ談話ハ前回ノ趣旨ヲ翻シタリトノア聴ザリシ　併シ御電訓ノ趣旨ハ前回ノ接見日ニ於テ詳述シ置キタレ本官ノ観察ニテハ露国新議会開会后果シテ議院政体成立スルニ於テハ佛国ニ於テ露国公債成立ノ望モナキニアラストノ意見ヲ有スルモノアルヲ以テ露国ハ佛国ニ於ケル日本公債ノ募集ヲ妨害スルニハアラサルカト判断セラル　併シ佛国ノ日本ニ対スル態度ハ好意的ノモノト察セラル

以上ノ往復ハ既ニ詳細栗野大使ヨリ承知セラレタル事ナルベク（其最早二週間後ニハ佛国ヲ棄テ

英米独ニ於テ発行ノ法例ヲ為サレトセラルヽ際ナル故
為念右御通知致候尤モ以上電報ニ依レハ仏国
政府ノ意嚮ハ一変シタルモノト推測セラルヽモ其事情
果シテ真意ノ存スル所未タ充分明瞭ナラス従来之殷仏
国節携ヲ握取セントヲ期シタル我ノ目的ヲ暫時タリ
トモ放擲スルノ決心ヲナスニハ頗ル遺憾ヲ感スル故
貴君ニ於テ更ニ一應本件ニ関スル仏国ノ事情ヲ
探索シ貴見詳細電報相成度尚當月五日外
務大臣晩餐会ニ於テ大蔵大臣ハ外務大臣ト共ニ仏ノ
国大使ニ対シ仏外務大臣ノ意見ノ前後相違セ
ル事ヲ譏リ且ハ仏国ニシテ今意ヲ遷延スルニ於テハ他ニ
方法ヲ講スルノ止ヲ得サルニ至ルヘキ事ヲモ附言セラレタル
ニ同大使ハ仏国ノ措置ニ対シ頗ル遺憾ノ意ヲ表

これ故多分何等カ佛国政府ニ報告スルナラント察
セラル

日本銀行

日本銀行

[illegible]

[illegible]

(111)

高橋副総裁ヘ

二月八日午后六時

電信

第三十号

貴電第四十五号領収之ニ依テ始メテ事情判明セリ第二十九号ニ対シテ御返電ヲ得（一字不明）［怠］シタル上ニ非レバ最早事情探索ノ余地モ無之就テハ第二十七号第二十八号第二十九号ニ対シテ至急返電相成度廟議御決定ノ上ニ於テ担当者巴里ヘ出張諸友人ト共ニ出来得ル限リ尽力シ第二十九号ノ通致度ト存ス此頃近ク倫敦ニ於テ支那公債及ヒブラジル公債ノ新規発行モ有之模様ニ付可成速ニ決判相成ランヿヲ要シ申候

日本銀行

(112)

高橋副総裁ヘ

二月八日午后十時

発信

第四六号

大蔵大臣ヨリ左ノ通電報命セラル
貴電第二十八号第二十九号閲悉露国政府ヘ直接
申入ノ事ハ既ニ当月二日本野公使ヘ訓令セラレ
昨七日同公使ヨリ返電有之タリ露国外務大
臣ノ答フル所ハ日本ト協商ヲナシ平和ノ保障
ヲ図セントスルニ存之之ハ帝国政府ニ於テ何等
異存ナキ事ナルヲ以テ右外交関係ノ事ハ別ニ
相談ヲ進ムルト同時ニ佛国ニ於テ公債発行ニ関
ニ露国ガ異議ヲ挿サル様本野公使ヨリシテ露

日本銀行

国政府ニ申込ミムルヿニ訓令シ尚栗野大使ヘモ右ノ
事情ナルニ付佛国政府ニ於テモ速ニ公債発行ニ同意
ヲ与フル様同政府ヘ申込ムベキ旨訓令セラレ、コトニ當
方外務大臣ト打合ヲ為タリ右ニ付貴君ハ栗野大使
ト打合セ可成佛国政府ヲシテ同意セシムルヿニ尽力
有之度但貴君ニ於テハ急遽スベカラサル時機ト認メラル、
時迄ニ佛国ノ意思決定セサル時ハ佛国ト心置
ク物剳ナシ五分利付公債発行ノ手段ヲ執ラレ異
議無之旨今日閣議ニ於テ決定済露国ト外
交関係ノ事ハ絶対ニ秘密

高橋副總裁ヘ

受信　　二月十日午前六時

第三十五号

貴電第四十六号飯塚十一日夜巴里着一週間滞在スル積リ御座候暗号帳携帯ニ付貴電ハ同地大使館気付ニ奉願候

[illegible]ニ區[illegible]大[illegible]

記[illegible]

[illegible]十[illegible]

[illegible]

[illegible]

大正十四年十[illegible]月[illegible]

[illegible]

高橋副総裁へ

二月十三日午后一時

発信

沖四十七号

大蔵大臣ヨリ左ノ通電報届セラル

ワルブルグ提議異議無之深井へ訓令致置ケリ

深井ヨリ委細電報可致

日本銀行

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]十[illegible]

[illegible]　〃四十三日 村井[illegible]

[illegible]

高橋副総裁ヘ

二月十三日午后着

発信

ヨリ

松尾総裁ヨリ依頼方之電報致シ
ワルブルグノ提議大蔵大臣ヨリ承知ス右ハ大体同
意細目ハ拙者渡欧ノ節協定スル積リ若シ
拙者出発前ニワルブルグ希望ノ条件ノ大要
ヲ知リ得バ最モ幸ナリ又本件ニ関シゴルドンニ於テ
異議無之ト信シテ宜敷哉

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁ヨリ

二月十五日午前八時

受信

第三十二号

目下諸友人盡力中多分目的ヲ達シ得ヘキ積ナリ

遅クトモ二月二十日迄ニ佛国政府ハ露国政府ト交渉

ヲ遂ケ栗野大使ヘ最後ノ確答可致筈

日本銀行兌換券準備ニ属スル英国大蔵省証券

追々償還相成代証券売物少ク　其結果トシテ市場

ヨリ現金ヲ引上之ヲ英蘭銀行ヘ預ケ入ルル事ニ相成

市場金融ヲ引締メ我公債発行ノ為不利益

千萬ナルニ付キ今后正貨準備ノ内ヨリ凡ソ一ケ月

内外ノ期限ニテ英国コンソルニ対シ貸出金ヲナシ

日本銀行

周ノ様道ノ開中其旨監督役及営繕官人
王島帽指圖方三度专願之

(117)

高橋副総裁ヘ

二月十五日午后二時卅分了

発信

第四十八号

政府ヨリ左ノ通電報御届タリ

本野公使ヨリ林外務大臣宛第二十八号電報ハ栗
野大使ニ轉電并君ニ傳ヘラルヽ筈右電報ニ依レハ
平和ノ保障ニ関シ主義ニ於テ日露佛三国当
局者ノ意見一致シ又日本カ公債ヲ佛国ニ於テ
発行スル事ニ付テモ主義ニ於テ異議無之事確
メラレタリ乍併露国ハ自分ハ公債ヲ発行ノ計
畫アルニ付暫ク例ヘバ二ヶ月間日本公債ノ発
行ヲ延期シ呉間敷哉ト懇願ノ意味ヲ申出

タリ右ニ付本野公使ノ訓電ノ都合有之貴君
ノ意見折返電報相成度但露国公使云々ノ
事ハ絶対ニ秘密ヲ保シタシ

中部監督役ヨリ

二月十五日 午前八時四十分

来信

第五十二号ノ

桑港事件ハ大体日本ノ請求ニ応シ同時ニ日本政府ニ於テハ米国本領ヘ移住民ヲ行政上制限致シ米国政府ニ於テハ移住民條令ヲ改正シ布哇島其他ニ向ケタル旅行券ヲ以テ米国本領ニ入込移住民ヲ拒絶スル事ヲ得ヘキ法律案議会ニ提出セラレタリ右通過ノ上ハ本件一先ツ落着セトノ風説

高橋副總裁ヨリ

二月十六日午前十時卅分

電信

第三十三号

米電第四十八号ノ銀業者ニ対スル意見ハ今朝既ニ栗野大使ヲ経テ上申セリ

高橋副総裁ヨリ

二月十五日午后五時

二月十六日午前十時三十分

要信

如左

将来我国工業ニ要スル資本ヲ得ルニハ仏国ヨリ取込置事最モ利益アリ 然ルニ仏国銀行社會組織ハ倫敦ト非常ノ距離アリ興業銀行代理者ニハ官民間ニ売込ミ便利ヲ有スル個人ヲ撰定スル事最モ緊要ナリ 是ニハドベルヌイユ最モ適当ナルモ同人ハ仏国政府ノ任命セル取引所長ナルヲ以テ日本興業銀行等ノ代理者トナルヲ能ハズ 因テ同人ヲシテ興業銀行ノ為最モ適当ナル人物ヲ推薦セシムレバ同人自責任ヲ以テ撰

業銀行ノ仕事ニハ終始都合宜シ電信ニテハ事
情ヲ尽ニ難シ作併兎ニ角今日好機会ト存候
故興業銀行代理者ヨリ世界ニ設クル事ニ付ドドベ
ルスイユト打談ヲ進ム事ニ致シ尚興業銀行総
裁ヨリ株券ニ委任方三度然レバコッホトそれ
値ノ上円滑ニ地盤ヲ作リ置クベシ尚ほ詳細ノ義
極ハ添田総裁来欧ノ際勤来れ成可然哉
候電四十七号ニテ落手ワんがんが
ノ事ハ帰英ノ上更ニ上申可致候

(121)

高橋副総裁

二月十六日午后十時

発信

の号

貴電ね号為替取引ニ於テ異議無之深田総裁ヨリモ宜シク頼ム旨申出ラレタリ但大蔵大臣ノ諒ニ依レハ佛國人ルーテレト申人長森藤吉郎氏等ト組合佛國ノ資本家ヲ誘導シ日本ニ於テ板硝子其他種々ノ工業ヲ起ス事ヲ計畫シ着々進行中ニテ之ニハルービエー其他佛國有力ノ資本家モ関係シ居ル旨同人申越セシニ付御含置成度

日本銀行

高橋副総裁ヨリ

二月十七日午前八時

受信

第三十四号

此電報ハ絶対的秘密ノ御含迄ニ申進ス
佛国大蔵大臣ノ関係有之候ハ支那銀行
一派内ニ運動致居候事ヲ探知セリ彼等
ノ目的ハ公債発行ノ交渉ヲ栗野大使ニ移シ
之ニ依テ巴里ノロスチヤイルドヲ除キ機會ヲ作リ以テ
露支那銀行ガ主動者トナランコトスルニアリ而テ佛国
大蔵大臣ハ裏面ニ於テ之ヲ援助スルコト明ナリ
栗野大使ニハ能此事情御話置被下度如此腐
敗ノ空気充満致居候故遺憾ナガラ今回ハ

日本銀行

佛国ニ依ラス五分利付公債発行ノ手段ニ依ニ至リ可申ト考候又但若ハ栗野大使ト大蔵大臣ノ會見模様ヲ聞直ニ帰英意見更ニ上申可致存候

高橋副総裁へ

発信　二月十六日午后十時

第四十九号

政府ヨリ左ノ通発電被成候ナリ

英貨千三百万磅ノ領収未済細目報知ス

日本銀行

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

日本銀行

高橋副総裁へ

二月十八日午后十时

発信

七号

貴電第三十四号ノ趣承御苦心推察ス 我大蔵大臣ハ露佛両国政府共強テ此際日本公債ノ発行ニ故障ヲ言ヒ向フ事追々確メラレントシ殊ニ外交上ノ交渉モ開レントシツヽアル際故若シ印度支那銀行一派ノ慾望ヲ他ノ事項例ヘバ将来必要トナル事アルベキ社債地方債等引受ノ如キ事柄ニ依リテ多少満足セシムルノ道ヲ講シテ今回ノ公債ニ関スル企ヲ思止ラシメ以テ佛国資本ト手ヲ切ザルコトヲ得ルノ方法モアレバ至極好都合ト希望シ居ラルヽ様察セラルヽ故貴君ニ

日本銀行

於テモ之ヲ御含アリテ充分忍耐御考究可然御尽
力有之度此段申進候

高橋副総裁へ

発信　二月十九日午后四時卅分

や号

去ル十六日拓会会事お済早速申上ぐべき筈ノ処遅延致シ御免アレ　例ノハ原田へ返還タリ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日本銀行

(126) （付ハ井上馨の書簡）

高橋副総裁へ

二月十九日午后四時三十分

発信

第五十号

政府ヨリ在倫敦電報原文ヨリ

日佛露三国ノ間ニ平和ノ保証ニ付外交上ノ関係ヲ生シ居ル折柄ニ付若シ貴君ガ佛国市場ヲ除キテ五分利付公債発行ノ携合ニ英米ノ外ニテ纏ラズ之ニ独逸ガ加入スルモノトセバ外交上ノ関係モ混雑ヲ来スノ恐ナシトセズ故ニ此意味ヲ貴君ニ注意致シ若シ独逸ガ加入スルトスルモ外交上何等交換問題ノ関係ヲ生セシメサルヲ要ス

右井上伯ヨリモ特ニ注意アリ御含置相成度本件ハ

日本銀行

(126)　（付へ井上馨の書簡）

高橋副總裁へ

二月十九日午后四時三十分

発信

第五十三号

政府ヨリ左ノ通発電総裁宛ナリ
日佛露三国ノ間ニ平和ノ條約ニ付外交上ノ関
係ヲ生シ居ル折柄ニ付若シ貴君ガ佛国市場ヲ
除キテ五分利付公債発行ノ場合ニ英米ノミ
ニテ纏ラズ之ニ独逸ガ加入スルモノトセバ外交上ノ
関係ニ混雑ヲ来スノ恐ナシトセズ故ニ此意味
ヲ貴君ニ注意致シ置キ独逸ガ加入スルトスルモ
外交上何等交渉問題ノ関係ヲ生セシメサルヲ要ス
尚井上伯ヨリモ特ニ注意アリ御含置相成度本件ハ

日本銀行

[illegible]

謹讀書之候處
並ニ相知り候者ト
左ニ御傳言之稿ゟ
ニ電信一通送り候て
十九號章吉と佛
御申越相成候ニ付撫ハ
候ニ付景業之儀ニ備り
ニ於テ宗ノ御[illegible]示ハ離縁
ニ於ても山之ハ若心ニ候処
東京ゟ候ハ々電信
十萬円ニ依り支出可相[illegible]
自ら公債券ゟ之由二候ヨ
依ては一ト通り云ふ事
田[illegible]かれ[illegible]冨[illegible]

依而ハ此事ニ申上候儀ハ云々之意
思召之程不相違ニ
依而ハ其義を知らハ是非
儀
八九之懇念有之候
然ニ右法律上申通
為府独乙立之やう[illegible]
交渉ハ英佛之間ニ[illegible]
而して此際日本独立致し候ハ
やうハ余ハ[illegible]を要し、
[illegible]丸とも成るべく候
大臣方御承知ニ候
余ハ熱心ニ[illegible]之[illegible]
御[illegible]旅行中[illegible]
[illegible]

ミ、我ゝ白書今日於静
ハ、可被遊候ニ付、其揃之儀ハ
ミ、右策ホと一無之積ミ
未向ヒ難尽、手段ニも
ラレ、可申も何又兼而
ハミ一覧致し、右五等ハ
候イ[illegible]も好所合ニ而
先角申上候、右筋之段
十九日[illegible]都日筆寄セ置
古賀先生以[illegible]扱も御
何分御[illegible]被仰丸
御手配ホ[illegible]要津ホ出
受之諸[illegible]扱ハ、不乱
一日ト御座候ミ晴天ミ

昨日ハ雨天ニ候処先々
[illegible]
之[illegible]候[illegible]
御[illegible]
[illegible]
[illegible]
申候[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]上ケ
相済[illegible]山小[illegible]
可相成[illegible]
先ハ[illegible]要用迄

先ハ右申上度如此御座候
匆々頓首
十一月十六日　静
保晋様
尚伸　昨日課ニ而御学
年来正使原之龍弁
洞第ニ而此四五年前之事
相方御細密ニ被成候ハ
素民写元ニ而閲覧之
申事も有之候ハヽ可申上候
荒井ニ而御調ニ相成候得共
ソリ御請ニ而洞書ニ此
ニ申述候　大兄台

素民写丸ニ而罷出候
由承候右ニ付而ハ
荒井ニ而御深切ニ御承知
被下相済候而同様奉頼候
上下共無事ニ大慶存候
先ハ大略申上度如此御座候
以上 [illegible]

絶対ニ秘密

高橋副総裁ヨリ

巴里 二月十九日午后十時
二月二十日午前七時

受信

第三十五号
貴電第四十九号ノ件落手佛国政府及巴里
ロスチャイルド並ニ其親密銀行ノ云フ如クセバ政府手
取八二パーセントニテ募集半分実行スルコトナリ
到底相手ト為スヲ能ハズ是畢竟彼等ハ巴里
市民ニ依ラザレバ此際日本政府ハ他ニテ巨額ノ
公債発行出来ズト軽侮致居ル為ナレバ最
政府ノ面目上及将来佛国資本家ヲシテ一層我
財政ノ信用ヲ尊重セシムル為此際速ニ他ニテ五分
利付公債額面價格ニテ発行ノ相談ヲ遂ゲ六分

日本銀行

利付公債ハ切替償還ヲ完了スルヲ緊要ナリタリ
且時機モ甚切迫シタルニ付拙者本月十九日帰
英直ニ英米業者ト協議ニ着手可致

倫敦 高橋副総裁へ

二月二十日午前十時卅分

発信

第五十一号

政府ヨリ左ノ通発電被成タリ

当電第三十五号領収委細承知

日本銀行

高橋副総裁ヨリ

二月二十五日午前十一時卅分

受信

第三十六号

本日當地新聞紙上ニルーター東京通信者ヨリノ
長文電信掲載有之日本軍事費膨脹ト題シ數
字ヲ示シ四十年度豫算ノ論事業ノ繼續ス年
科目ヲ掲ケ四十一年度以后毎年一億八千万円ノ不
足ヲ生スル旨結論セリ此影響ヲ受本日日本公債
各種下落セリ尤モ多少手心ヲナシ大下落ハ喰止メ
シ居實ニ公債談進行ノ妨ト相成申候今日ロード
スチャイルド其他関係者ヨリ質問ヲ受ケタルニ付右ハ
政府反対者ノ攻撃ノ言ニシテ事実上如此欠額

日本銀行

ヲ生ズルニ非トテ一笑ニ付シ一時ヲ糊塗シ置キシモ到底之ニテハ濟不申将来ノ財政ニ對シ辨明ノ方法至急電報有之度

高橋副総裁へ

二月二十六日午前十一時卅分

発信

け牙り

深田ヨリシフへ左通発信シタルコトヲ貴下へ通知セシ旨申来り候

南満州鉄道会社社債ニ対シ政府ニ於テ元利保証ノ件ハ十八日両院ヲ通過セリ右ニ付後藤男ハ鉄道材料ハ米国ニ専ラ注文スルコトニ決心シ社債募集ニ至ルマテ一時ノ立替金ヲ日本興業銀行ニ依頼セラレタリ依テ余ハ社債発行ノ引受ヲ条件トシ右依頼ニ応スルコトニ決心セリ本件ニ関シ内々大蔵大臣ノ意向ヲ探リタルニ大蔵大臣ハ余ノ決心ニ付テ異議無

日本銀行

之但大蔵大臣ハ高橋氏担当中ハ公債借換ノ
了ル迄ハ社債発行ニ対シ認可ハ与ヘサル考ナル旨ヲ
談レリ右内密ニ申進ム

日本銀行

高橋副総裁ヘ

二月二十日午后四時

発信

東京ヨリ

貴電第三十三号ノ第二項ノ件其筋ヨリ国家ノ必要上一時限臨機ノ処置トシテ一案想アリタリ

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁ヘ

二月二十七午后五付

来信

第五十二号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ

露佛両国政府ガ巴里ニ於テ日本公債発行ニ同意
シタル事ハ当月十九日当方外務大臣宛本野
公使電報第五十九号及栗野大使電報第十八号
ニテ明瞭セリ就テハ今回ハ不得止巴里市場ヲ除クト
シテモ兎ニ角露佛両国政府ニ対シテハ右同意
ヲ表示シタル好意ニ付相当ノ挨拶ヲ為スノ必要
アリト考ヘ夫レニ付貴電第三十五号ニハ発行条件
及発行額ニ付佛国政府宛ニロスチャイルド等ノ主張

日本銀行

不當ナル為メ巴里ヲ除トアリシ発行条件ニ迄モ佛
国政府ガ干渉スル様ニ見ヘ栗野大使廿八日ノ
電報ニハ佛国大蔵大臣ガ四分利付公債英国発行
ノ分ヲ公定相場表ニ掲載ニ不同意ナルガ為トアリ
貴電ト一致セズ尚又佛国政府ガ本件ニ付我ニ対
スル好意ノ深浅並ニ佛国トモ手ヲ切ノ事情充分
詳ナラサルノ憾有之露佛両国政府ニ挨拶ヲ表スル
ノ程度ヲ量ルニ付テ多少ノ関係モ有之哉故右事情
詳細電報相成度又右両政府ニ挨拶ヲ表スル辞令
ニ付貴君ノ御注文アラハ併セテ電報相成度

高橋副總裁ヨリ

二月二十二日 午前十時

受信

第三十七号

貴電第五十二号願事巴里株式取引所公定相場揭載ノ目的ハ第一英佛兩市場ニ於ケル我四分利付公債市價ヲ均一ナラシムルニ在リ第二之ニ依テ多少四分利付公債市價ヲ高メ少クトモ八九ニテ発行セントスルニアリ然ルニ佛國大臣ガ公定相場表ニ登載ヲ許サヽル件ハ右二ノ目的ヲ達スル事ヲ得ス而新ニ兩市場ニ公債ヲ発行スルニ其発行價格ヲ二様ニスルハ不可能ナルヲ以テ佛國銀行若ハ今日ノ英國市價ニ標準ヲ取

発行價格ハ之ヲ主張シ且発行ノ半額ヲ確実
ニ引受残半額ハ其后ノ市場景気次第ニテ引受
ル様假引受ノ条件トナスヲ主張シタル為破談ニ
帰シタル譯ナリ佛国政府ハ敢テ直接ニ条件ニ干渉
シタルニ非ス其表掲載不認可ガ自然条件ノ
大切ナル部分ニ影響セリトノ意味ナリ又最後ニ
栗野大使ヨリ佛国外務大臣大蔵大臣ヘ口上書
トシテ出サレタル書面ニハ是迄ノ好意ヲ謝シ且今后
ノ借用事件ニハ不相変佛国銀行ノ協力ヲ望ム旨
陳述致シアリ仍テ露佛政府ノ好意アリタルニ拘ラス発
行条件及方法ニ於テ談不纏ニ終リタルヲ遺憾トスルト
同時ニ両国政府ノ好意ヲ表セラレタルヿヲ感謝スト云フ
信ニテノ十分ト存候

発信

四十一年四月廿日午前十一時半

第五拾三号

依テ左ノ通発電命セラレタリ

貴電第三十六号領承ス ロイトル通信者ハ何ノ電報

ニ基キタルト強テ了解ス 若シ彼ハ過日四十年度予算

概要ヲ電報シタルニ「タイムス」通信ヨリ二日後レタル

為メ痛ク本社ヨリ叱ラレ腹立紛レニ出タルコトナルヘシ

彼ハ昨年モ同様趣意ノ電報ヲ発シ倫敦市場

ヲ迷ハシタルコトアリト記憶ス 抑将来ノ歳計ハ四十年度

四十一年度共ニ別ニ不足ナシ(但三十九年度ノ残リノ計画

ノ公債ハ未タ募集シ居ラサルモ之ハ追テ募集ノ積)四十

二年度以降ハ未タ計算ヲ作ラサルモ歳入ニ増加スヘキ

日本銀行

モノアリ又歳出中一時限ノ者ハ減少スル故若干アリ
不足アリトハ考ヘ居ルモ四十年度豫算ノ際ノ如キ
中陸海軍潜回費ノ巨額ヲ占ムルハ事實ナルモ
是レハ戦後残務整理ノ結果出征準備品ノ補
足兵器ノ修繕等何レノ国ニ於テモ普通不得止
モノナリ故ニ政府ハ無根ノ報告ニ対シテハ他ニ弁明
ノ仕方ナシト云フノ外ナシ當時豫算案ニ付テハ衆議
院ニ於テハ全院一致ヲ以テ通過シ貴族院ニ於テモ
毫モ危惧ノ念ヲ抱カス是亦異議ナク通過セシトス
ルノ形勢ナルヲ見ルモ財政ノ確實ナルハ明ナル事實
ナリ右小村大使ヘモ傳言シ適當ノ手段ヲ以テ「ロイテル」
通信ヲ打消サレ度

高橋副総裁ヨリ

二月二十四日午后一時

受信

為手

添田総裁ヘ傳言有之候

當方電信ヲ以テ日本興業銀行巴里代理店

ハド、ベルヌイユノ推薦ニ由リガンツブルグ男ヲ撰定

セリ拙者ハ最適任ト信ゼズ コツホモ異存無之

出電ヲ以テ独逸ノ事ニ関シテハ今日ゴルドシ、

於後致候必要無之 又為伴等ニ関シテハ添

田総裁御來ノ上御拙ノ為ヲ若ト協定

セラレ候 拙者ハ従来ノ実験上添田総裁ガ

當初ヨリ最適当ナル節ト関係ヲ結バル

必要アルヲ感シタルニ付豫メ地盤ヲ作ルニ足ラズ
ト御承知相成度　郵便ニテ委細可得貴意

高橋副總裁

二月二十三日午前十一時卅分

發信

第五十四號

政府ヨリ左ノ通發電被命タリ

當地ルートン通信員其他ヲ取調タルニ貴電第十三

十六號ノ新聞記事ノ發信ニ係ル形跡ナシ或ハ貴地ニテ

捏造セシニ非ルカ頗ル疑シ

日本銀行

日本銀行

7/

(137)

高橋副總裁ヨリ

二月二十四日午前九時

来信

卅八年ノ
歸英後六分利卅公債二千二百万磅償還ノ為五分利
卅公債二千三百万磅ヲ額面價格ニテ發行シ手數料
四%ヲ要スル丁ヲ基礎トシテ内談ヲ始メタル処米国ハ
九七1/2%ヲ主張致又佛ヤ銀行家ハ種々ノ妨害ヲ
試ミ一方ニ於テハ我ニ不利益ナル記事ヲ屢新聞紙上
記載有之此所種々ノ怪雲ニ蔽囲セラレタリ
下僕一週間内ニハ怪雲ヲ排シ談判ヲ進ムル見
込ナルモ發行ノ成功ヲ期スル為メ則額面ト發行
價格トノ間ニ折衷ノ餘地ヲ作ル為發行價格ヲ

日本銀行